

# 伝えたい、感謝の響き

## 郡山東高吹奏楽部

### あす、演奏会を生配信

演奏で感謝を伝えたい。郡山東高吹奏楽部の48人は18日、郡山市のけんしん郡山文化センターで定期演奏会を開く。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で演奏会の中止や延期を選択する学校も多い中、ステージ配置を工夫したり、動画配信したりと自分たちができることを考えながら、開催に向けて準備を進めている。

「定期演奏会はいこれまでお世話になった人たちに恩返りする場。保護者や先生、先輩方、地域の企業の人たち…。感謝を伝えるために、どうしても開催したかった」。部長の坂茜音さん(17)は3年間は演奏会を懸ける

思いをこら語った。部員たちが演奏会の準備を始めたのは丸1年前の昨年夏。4月になって新入生が入り、新体制の登録を済ませた直後に休校が発表された。コンクールの中止が決まるなど影響が拡大する中「演奏会はどうなるの」と不安が広がった。それでも、自主練習にいそしんだり、リモートで曲目について話し合ったりと、諦めずに準備を進めてきた。

形なら開催できるか」の検討を重ねた。演奏席の幅を広く取ればその分周りの音が聞きにくくなるし、時間を短縮すれば曲を減らさなければならぬ。会場の規制に合わせて何度も配置を組み直し、曲目について意見をぶつけ合った。コロナ禍以降、同センターで高校生の定期演奏会が開かれるのは初めてとなる。会場には3年生の保護者のみ入ってもらい、演奏を動画投稿サイト「ユーチューブ」で生配信する。演

奏会を目前に控え、定期演奏会実行委員長の西東茉佑子さん(18)は3年間は「開催を喜んでくれる友達の手紙がとてうれしかった。精いっぱい演奏して感謝を伝えたい」と決意を語った。



ポスターに動画配信のQRコードを貼るなど工夫を重ねて演奏会の準備を進めてきた坂さん(左)と西東さん(右)



定期演奏会に向けて練習する部員たち